

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において、製造上の欠陥により万一故障した場合、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

保証期間経過後の修理などにつきましては、お買い上げ店にご相談ください。

●保証期間

保証の効力は、製品お買い上げと同時に発生いたします。

その期間は1年間有効とし、機器本体を対象とします。

●保証規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買い上げ店が「無料修理」いたします。

2.無料修理を受ける場合は、お買い上げ店にご依頼の上、本書をご提示ください。

3.保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。

1) ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
(本説明書に記載されている禁止事項、禁止食材の加工を守らずに使用された場合を含む。)

2) 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。

3) お買い上げ後の転倒、落下などによる故障および損傷。

4) 車両、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。

5) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。

6) メーカー規格想定以上の過度な使用による部品の消耗や破損。

7) 使用上の劣化による消耗部品の交換を要する場合。

8) 本書の提示がない場合。

9) 本書にお客様名、お買い上げ年月日、お買い上げ店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

4.本書は日本国内においてのみ有効です。

スーパーフードプロセッサー master chopper 保証書

本機はお買い上げの日から下記の期間に故障が発生した場合には上記の記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。ご記入いただきました個人情報(お名前、ご住所、電話番号)は保証期間内のサービス活動、および安全点検活動の為に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げ販売店にご連絡ください。

型番	<input type="checkbox"/> AFP-1 <input type="checkbox"/> AFP-1M	製造番号			
お買い上げ日	年	月	日	保証期間	お買い上げ日から本体1年
お客様	お名前	様			
	ご住所	〒	TEL ()	-	
お買い上げ店	店名・住所				

Made in Japan

asahi 旭株式会社

〒537-0003 大阪市東成区神路4丁目3番18号
TEL (06) 6972-8866 FAX (06) 6976-1374
<http://旭株式会社.com/>

AFP-1／AFP-1M〈業務用〉

スーパーフードプロセッサー master chopper 取扱説明書



もくじ

P1 ご使用になる前に

- ユーザー登録のお願い
- 安全上のご注意
- ⚠ 警告
- ⚠ 注意

P4 各部の名称

- 名称
- 梱包内容一覧

P5 ご使用方法

- 部品の取り外し方・取り付け方
- 調理の仕方
- 操作方法
- 調理物の取り出し方

P12 調理量の目安と調理禁止食材

P13 お手入れ方法 / 収納の仕方

P14 過負荷保護装置について

P15 故障 Q&A

P17 仕様

- 製品仕様
- アフターサービス

裏表紙 / 保証書

このたびは、「スーパーフードプロセッサー master chopper (AFP-1/AFP-1M)」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

また、お読みになってからも大切にお手元において、ご活用ください。

●本製品の保証書は本紙の最終ページに記載されています。

必ず「お買い上げ日・お買い上げ店」等が正しく記入されていることを確かめの上、大切に保管してください。

保証書付

■ユーザー登録のお願い **必ずお読みください**

本製品をご使用される前に、
同封の「スーパーフードプロセッサー master chopper ユーザー登録書」に
必要事項をご記入の上、弊社指定番号へFAXをお願いいたします。
重要な仕様変更のお知らせ、また故障時の代替機手配の際に
ユーザーIDが必要になりますので、必ずユーザー登録をお願いいたします。
※IDはユーザー登録後に発行されます。
※ユーザー登録書を紛失された場合は、P17に記載しております、
お客様サポート専用デスクまでご相談ください。

■安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず
お守りください。

■誤った使い方をされた時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

！警告 死亡または重傷を負うおそれのある内容です。

！注意 障害を負ったり、財産の損害が発生するおそれのある内容です。

■お守りいただく内容を次の記号で説明しています。

（×） してはいけない内容です。

（！） 実行しなければならない内容です。

！警告 **必ずお守りください**

（×） 次のことをしてはいけない

- コンセントや配線器具の定格電力を超える使い方や交流100V以外での使用はしない。
→タコ足配線などで定格電力を超ると、発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグ、電源コードを傷つけたりしない。
加工したり、引っ張ったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟んだりしない。
→電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグなどの抜き差しはしない。→感電の原因になります。
- カッター・プレート刃は鋭利な刃物のため、刃には直接手を触れない。
→ケガの原因になります。カッター・プレート刃の付け外し、お手入れ、保管時は特に
注意してください。
- カッター・プレート刃の回転中にワークボール蓋を開けたり、ワークボールを外したり、
ワークボールの中に指やスプーン、箸などを入れない。→ケガの原因になります。
- プレート刃使用時はプッシャー、プッシャーガイドを外して使用しない。
→ケガの原因になります。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。→ショート、感電の原因になります。
- 分解、修理、改造等は絶対おこなわない。→感電、火災、ケガの原因になります。
- 安全装置に磁石及び磁気を帯びたものを近づけない。
→安全装置が動作せず、ケガの原因になります。

（！） 次のことをする

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。→発火、発熱、感電の原因になります。
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。
→感電、発火、発熱、火災、ケガの原因になります。
- 水のかからないところで使用する。
→本体と電源コードに水がかかりますと、漏電、感電の原因になります。
- 電源プラグのホコリなどは定期的に取り、プラグを抜き乾いた布で拭く。
→ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- カッター・プレート刃の取り付け、取り外しをするときには、電源プラグを
コンセントから抜いておこなう。→感電、ケガの原因になります。
- カッター・プレート刃はヒビ、割れ、曲がり等ないことを確認してから使用する。異常
や損傷に気付いた場合は使用を中止し、新しいものと交換する。
→ケガの原因になります。

注意 必ずお守りください

次のことをしてはいけない

- 運転中に本体を移動させない。→ケガの原因になります。
- 不安定なところで使用しない。→ケガの原因になります。
- 本機の上に重量物や、水を入れた容器などを置かない。→感電やケガ、破損の原因になります。
- お子様や不慣れな人だけで使用しない。乳幼児は絶対に近づけない。
→感電やケガの原因になります。

次のことをする

- 本体以外の各部品は、使用前後に必ず洗浄・清掃する。
→雑菌の繁殖、健康障害の原因になります。
- 洗剤を使った後は、洗剤成分を十分に洗い流す。→健康障害の原因になります。
- 部品の取り付け、取り外しやお手入れをする際は、必ず電源プラグを抜く。
→感電やケガの原因になります。
- 使用時以外はつねに電源プラグをコンセントから抜いておく。
→絶縁劣化による感電・火傷・ケガまたは漏電火災の原因になります。
- 電源プラグを抜く時は電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
→電源コード内で断線して、感電やショートして発火の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、電源コードが張らないように余裕を持ち使用する。
→転倒、落下によるケガや故障の原因になります。(電源コード:2m)
- ワークボール、ワークボール蓋、ブッシャーガイドの取り外しは、カッターまたはプレート刃の回転が完全に止まってからおこなう。→ケガの原因になります。
- ワークボールには禁止調理物(P12参照、冷凍した材料・固い材料・攪拌で膨張する材料など)は入れない。
→ワークボールやカッターまたはプレート刃の破損やケガ、調理物がこぼれる原因になります。
- 持ち運ぶときは、本体底に両手をかけて持つ。ワークボールのハンドル等をもって運ばない。
→破損、ケガの原因になります。

ご使用上のお願い

- 調理物は入れすぎないようにしてください。(P12参照)
→調理物のこぼれる原因や、モーターに過負荷がかかり故障の原因になります。
- 使用中に回転が停止した時は繰り返し使用しないでください。
→発煙・異臭・故障の原因になります。P15、16に従って対応してください。
- 作業に支障のないように、十分なスペースを確保してください。→ケガの原因になります。

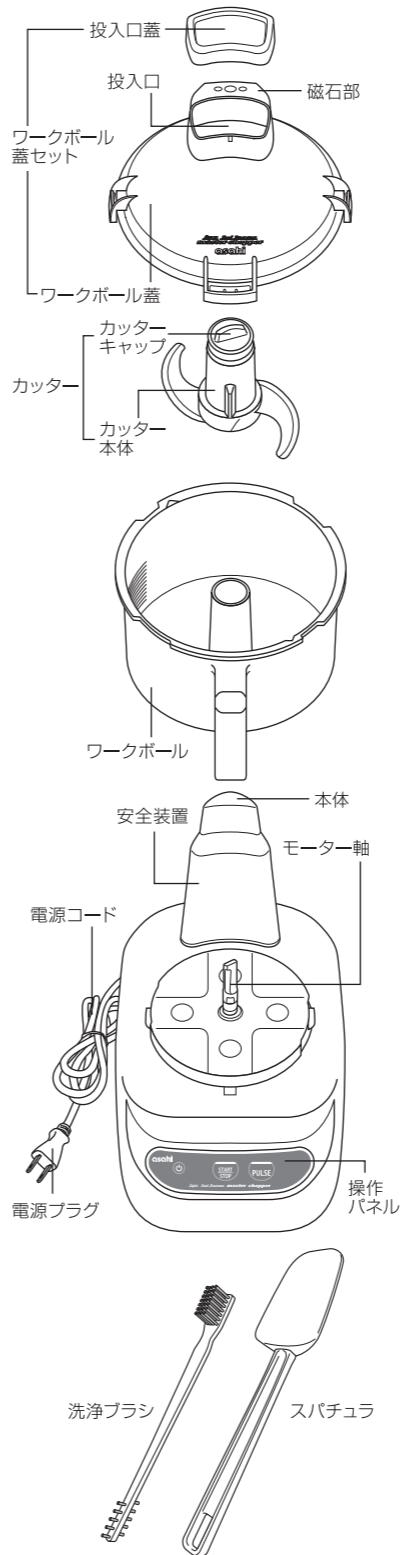
※カッター・プレート刃を持つ際、必ず軸部をつかんでください。

ご注意 決して刃を持たないでください。(P5参照)

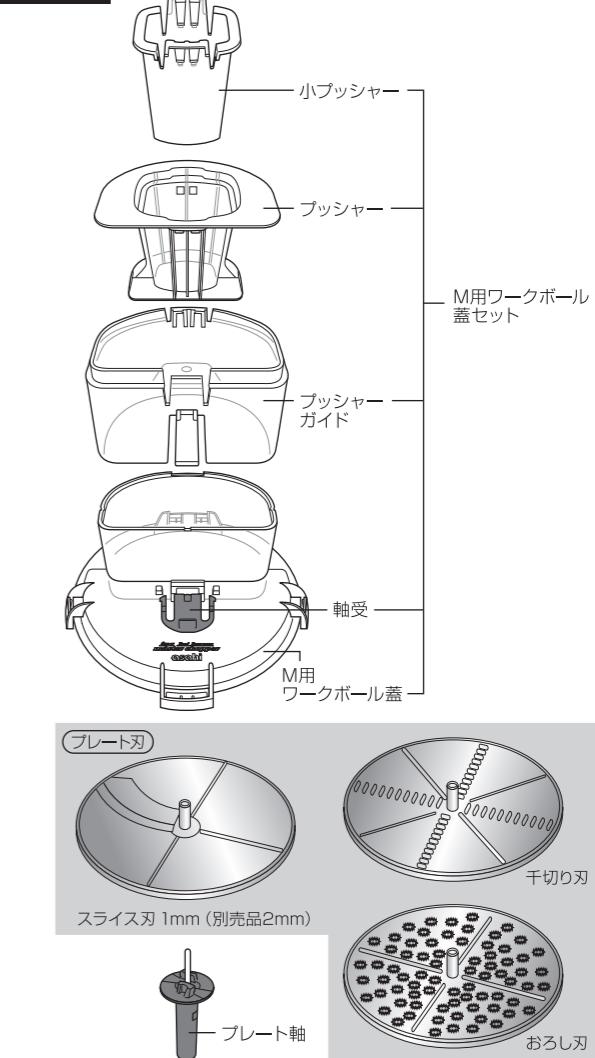
※ご使用になられる前に、「ご使用方法」(P5~11)をご参考ください。

各部の名称

■名称



AFP-1Mのみ



■梱包内容一覧

パッケージには下記のものが入っていますので、最初にお確かめください。
足りない場合は、お買い上げ店へご連絡ください。

共通	数量	AFP-1Mのみ	数量
本体	1	小ブッシャー	1
ワークボール	1	ブッシャー	1
カッター	1	ブッシャーガイド	1
ワークボール蓋	1	M用ワークボール蓋	1
投入蓋	1	プレート軸	1
洗浄ブラシ	1	スライス刃 1mm	1
スパチュラ	1	おろし刃	1
取扱説明書	1	千切り刃	1
ユーザー登録書	1	スライス刃 2mm (別売品)	1

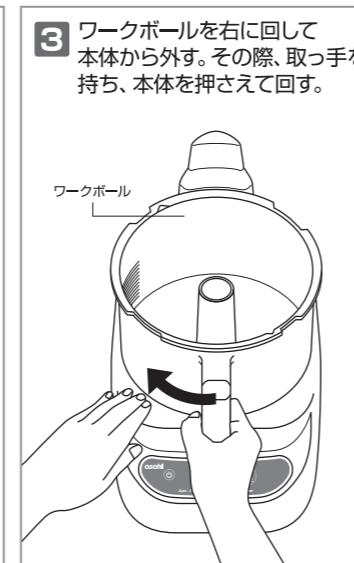
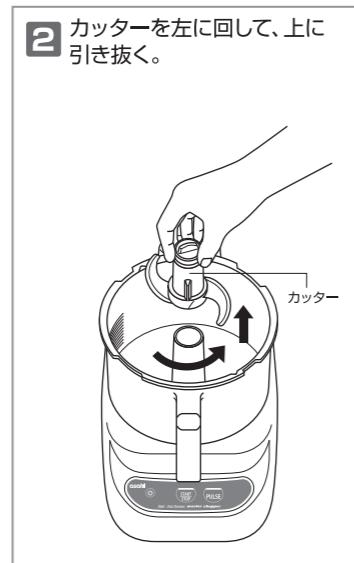
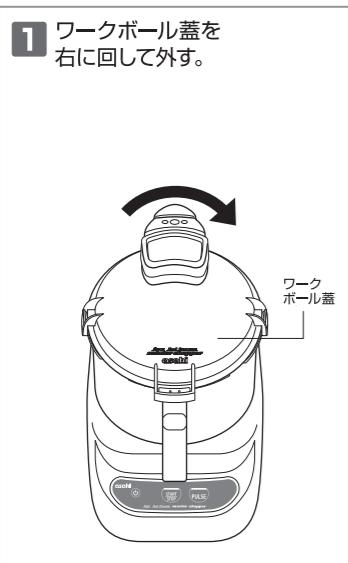
ご使用方法

ご使用前に

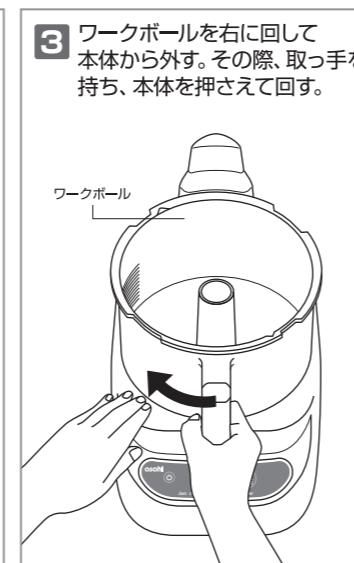
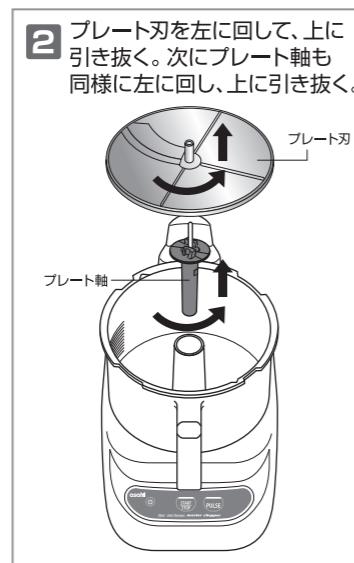
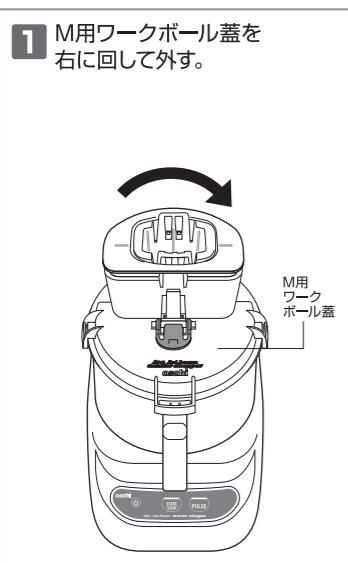
ご使用前に本体からワークボールを外して各部品を洗浄後、再度確実に取り付けてご使用ください。

■ワークボールの取り外し方

カッター仕様



プレート仕様 (AFP-1M)

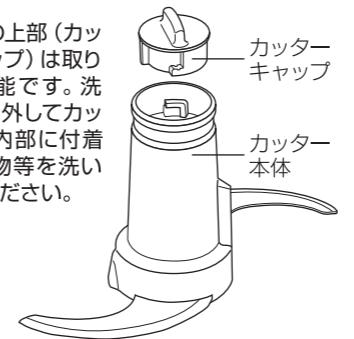


!
カッター/プレート刃を持つときには必ず軸部をつかんでください。(上図②参照)
電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

ご使用方法

■カッターキャップの取り外し方

カッターの上部(カッターキャップ)は取り外しが可能です。洗浄時、取り外してカッター本体内部に付着した調理物等を洗い落としてください。



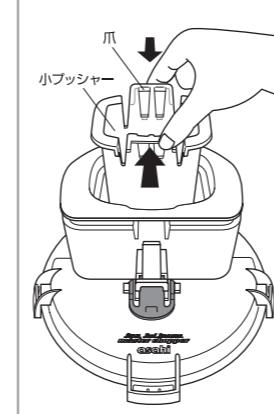
■カッターキャップの取り付け方



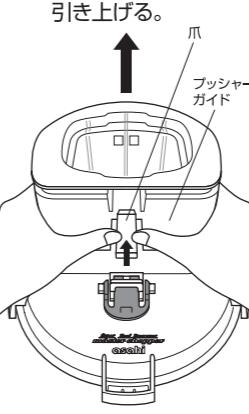
!
カッターキャップの取り付け、取り外しを行う際には、カッターの刃を持たずに、
カッター本体の軸部を持っておこなってください。

■M用ワークボール蓋セットの取り外し方 (AFP-1M)

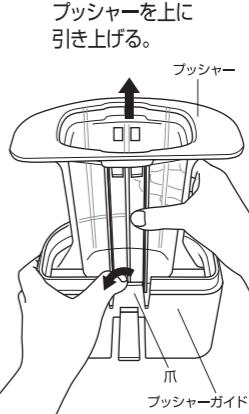
1 小ブッシャーの爪を軽くつまみながら引き上げる。



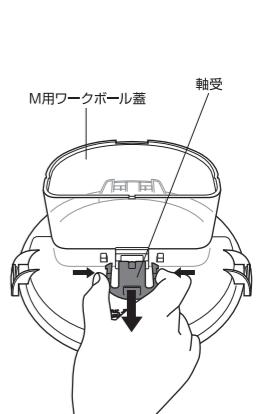
2 ブッシャーガイドの真ん中の爪を押し込みながら引き上げる。



3 ブッシャーガイドの真ん中の爪を引きながらブッシャーガイドからブッシャーを上に引き上げる。



4 軸受を横から挟みながら手前に引く。



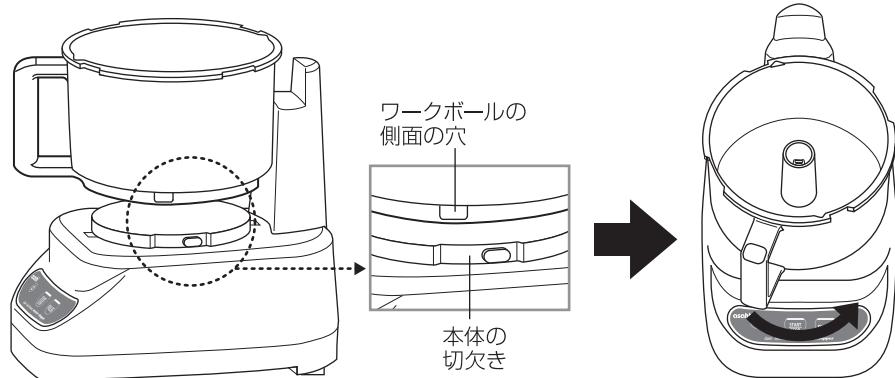
!
ブッシャーはブッシャーガイドをM用ワークボール蓋から外してから、取り外してください。

ご使用方法

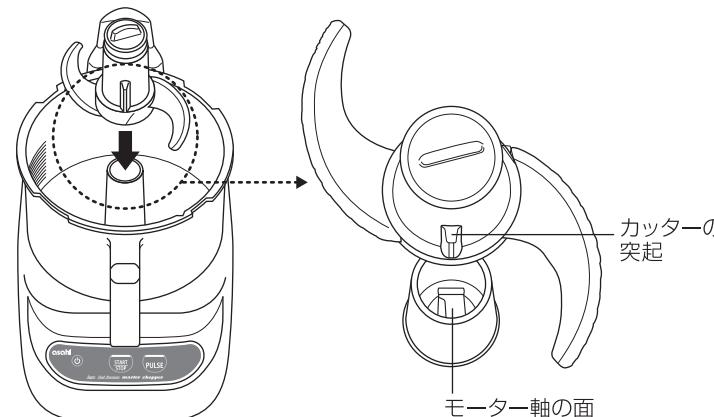
■ワークボールの取り付け方

カッター仕様

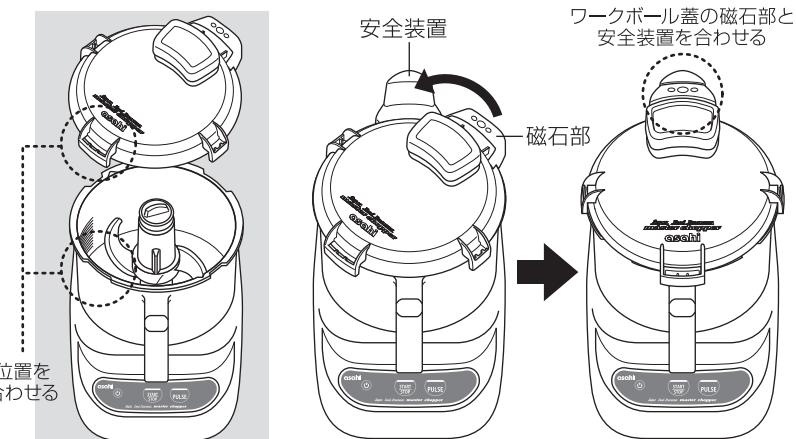
- 1 ワークボールの側面の穴と本体の切欠きを合わせて取り付けて、カチッとなるまで左に回す。



- 2 カッターを点検し異常がなければモーター軸に取り付ける。モーター軸の面とカッターの突起の位置を合わせて奥までしっかりと差し込む。



- 3 ワークボール蓋を取り付ける。
①ワークボールのつばの切欠きとワークボール蓋の突起部が合うように取り付ける。
②カチッとなるまで矢印方向に回す(ワークボール蓋の磁石部が安全装置に合うまで回す)。



カッターを持つときには必ずカッター本体の軸部をつかんでください。(P5図参照)
電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

ご使用方法

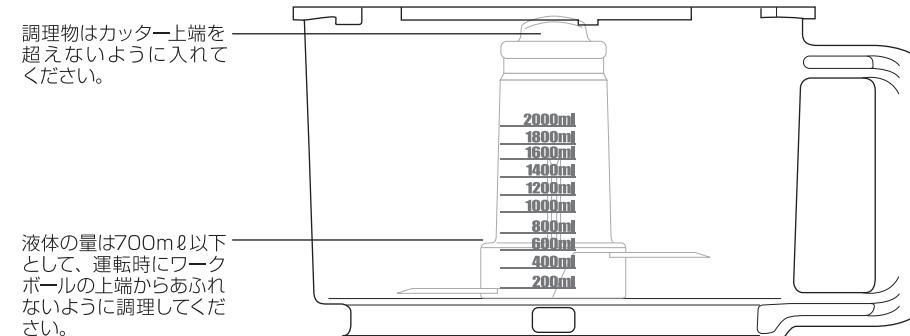
■調理の仕方

カッター仕様

- ワークボールを本体に取り付ける。
- カッターを取り付ける。
- お好みの調理物をワークボールに入れる。
- ワークボール蓋を取り付ける。
- 投入口蓋をワークボール蓋の投入口に被せる。
- 操作方法(P11参照)に従って調理する。

! お願い<調理物について>

- カッター上端を超えて調理物を入れないでください。
- 液体は粘度により、調理可能な量は変わります。液体のみを調理する時は、処理水分容量の700ml以下としてください。
- ワークボールの目盛以上に液状の材料を入れないでください。ワークボール中心部の穴からあふれることができます。
- 液体以外のものと合わせて調理する場合は、ワークボールの目盛、600ml以下となるように入れ、調理を開始してワークボール上端を超えないように確認しながら調理量を増やしてください。動作時、ワークボールの上端を超えるようであれば、量を減らして調理してください。



! 注意

- 調理物を入れる前に必ずカッターを取り付けてください。調理物を入れてからカッターを付けると完全にセットできず、ケガや故障の原因になります。
- 熱いもの(80°C以上)を処理しないでください。
固形化補助食品をご使用時80°C以上の調理物を投入する場合は搅拌時の温度上昇を含め100°C以内でご使用ください。モーターの回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響で調理物が飛び出し、火傷の原因になることがあります。
- 硬いもの、粘度の高いものは入れないでください。(P12参照) カッターの破損や、モーター故障の原因となります。



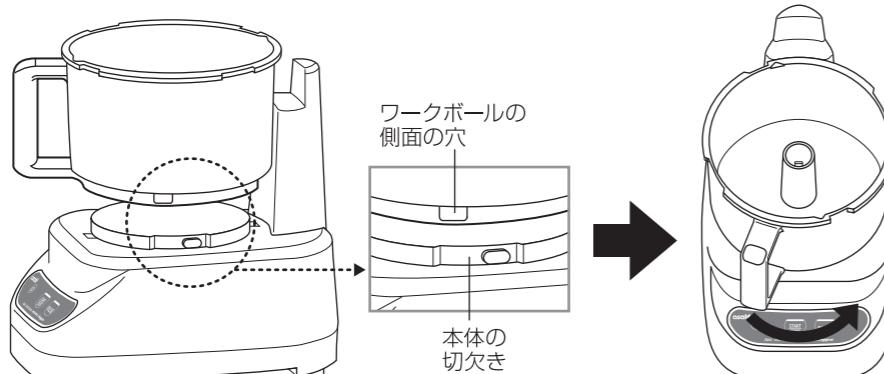
ワークボールに記されている目盛りはカッターを取り付けた状態での目安です。
正確な分量が必要な場合は別途、計量器で計測してください。

ご使用方法

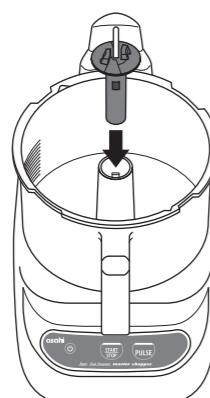
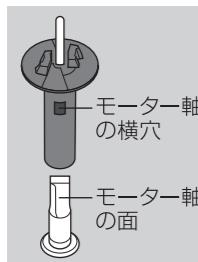
■ワークボールの取り付け方

プレート仕様 (AFP-1M)

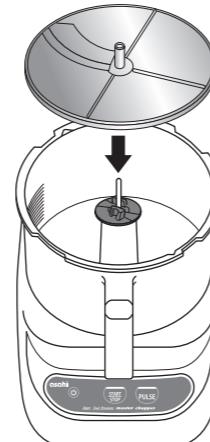
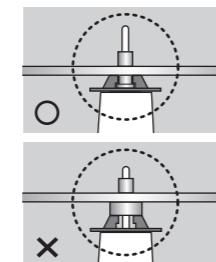
- 1 ワークボールの側面の穴と本体の切欠きを合わせて取り付けて、カチッとなるまで左に回す。



- 2 プレート軸、プレート刃を点検し、異常がない場合はモーター軸の面とプレート軸の横穴を合わせて奥まで差し込む。

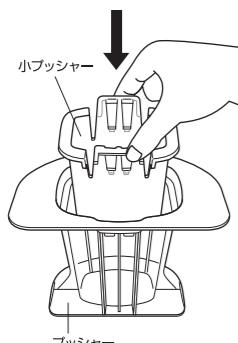


プレート刃中心の穴をプレート軸に差し込む。
(差し込んだプレート刃が奥まではまっているか確認してください。)

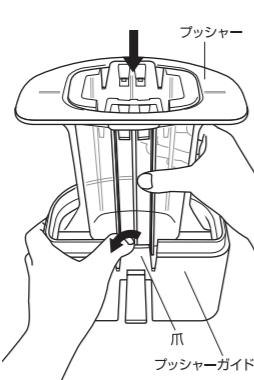


- 3 M用ワークボール蓋セットを組み立てる。

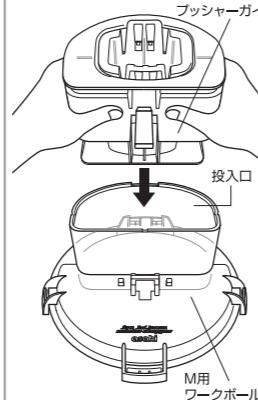
①プッシャーに小プッシャーをカチッというまで差し込む。



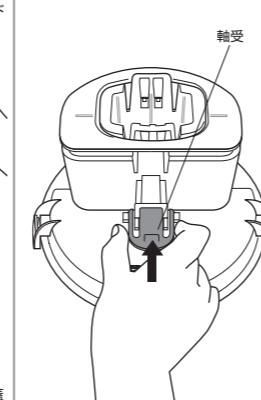
②プッシャーガイドの真ん中の爪を引きながらプッシャーを差し込む。



③②でセットしたプッシャーガイドを、M用ワークボール蓋の投入口にカチッというまで差し込む。



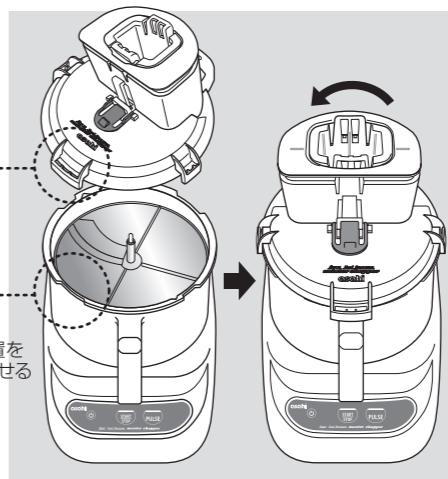
④軸受をカチッというまで差し込む。



ご使用方法

4 M用ワークボール蓋を取り付ける。

- ①ワークボールのつばの切欠きとワークボール蓋の突起部が合うように取り付ける。
(プレート軸先端が軸受に差し込まれ、蓋が正常についているか確認してください。)
- ②カチッとなるまで左に回す。
(プッシャーガイドの磁石部が安全装置に合うまで回す)。



プッシャーガイドの磁石部と安全装置を合わせる



!
プレート刃を持つときには必ず軸部をつかんでください。
電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

■調理の仕方

プレート仕様 (AFP-1M)

- 1 ワークボールを本体に取り付ける。(P9 1 参照)
- 2 プレート軸とお好みのプレート刃を取り付ける。(P9 2 参照)
- 3 組み合わせたM用ワークボール蓋を取り付ける。(P10 4 参照)
- 4 プッシャーガイドまたは、小プッシャーを外し、お好みの調理物を投入口から入れる。
- 5 プッシャーまたは、小プッシャーで調理物を押さえながら、操作方法 (P11 参照) に従って調理する。

! 注意

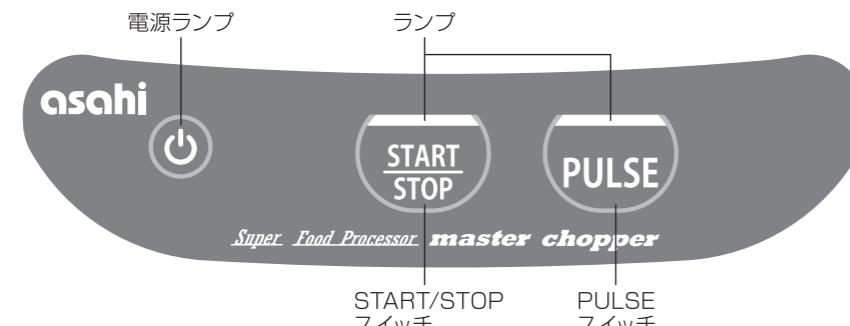
- 投入口に調理物を入れるときは、プッシャーガイドをワークボール蓋から取り外してから入れてください。プッシャーガイドとプッシャーを外した状態での運転は危険です。ケガや故障の原因になります。
- プッシャーガイドのみを取り付けての使用や、磁石等を安全装置に近づけての使用はしない。ケガや故障の原因になります。
- 調理物を押さえるときプッシャー、小プッシャーを取り付けて使用する。他の物で押すと刃にあたる恐れがあり、ケガや故障の原因になります。
- プッシャー、小プッシャーで調理物を押さえるときは軽く押さえてください。強く押さるとプレート刃やプレート軸が変形し、破損や故障の原因になります。
- 硬いものや調理物以外は投入口から入れないでください。プレート刃、プレート軸の破損やモーター故障の原因になります。

!
ワークボールに記されている目盛りはカッターを取り付けた状態の目安です。
正確な分量が必要な場合は別途、計量器で計測してください。

ご使用方法

■操作方法

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2 電源ランプが緑色に点灯したことを確認して、START/STOPスイッチまたはPULSEスイッチを押して調理する。(動作中は、選択した機能のスイッチ上部のランプが青色に点灯します。)
- 3 調理が終われば運転を停止する。カッターまたはプレート刃が完全に停止したのを確認してから電源プラグをコンセントから抜く。



スイッチ	動作
START/STOPスイッチ	スイッチを一度押すと運転開始、もう一度押すと停止します。
PULSEスイッチ	スイッチを押している時だけ運転します。離すと停止します。

電源ランプが点灯しない場合

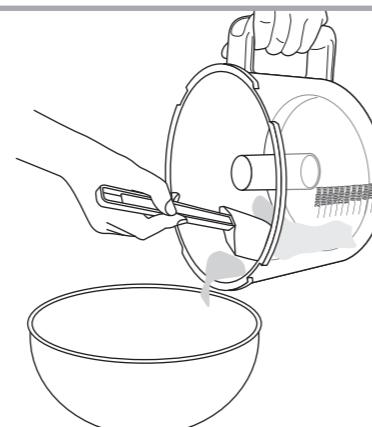
ワークボール蓋またはブッシャーガイドが完全に取り付けられていないと、安全装置がはたらき、電源ランプが点灯しません。(電源プラグを差し込んだときに電源ランプが光ってすぐに消えます。) そのようなときは、ワークボール、ワークボール蓋を左回しに止まるまで回して、完全に取り付けられていることを確認してください。

●お願い

- START/STOP・PULSEスイッチを押して調理が開始されたとき、機器全体が揺れることがありますので、片手でワークボール蓋を抑えてスイッチを押してください。
運転前に、PULSEスイッチを何回か押して、調理物を少し刻んでからSTART/STOPスイッチで運転していただくと、揺れが小さくなります。
- 異音や振動が大きい時は調理物を減らしたり、調理物を少し小さく刻み直してください。
調理物がワークボールの中でかたよっているときは、ヘラ等で均等になるようにならしてください。

■調理物の取り出し方

- 1 電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してからワークボール蓋を開ける。
- 2 本体からワークボールを外す。
- 3 カッター・プレート刃・プレート軸を取り外し、付属のスパチュラ等で調理物を取り出す。



調理量の目安と調理禁止食材

■調理量の目安 カッター仕様

材 料	処理状態	最大処理量 目安	処理時間	下ごしらえ
鶏胸肉	ミンチ	560g	10秒	3~4cm角にカット
パセリ	みじん切り	115g	5秒	水分を拭き取り、茎を取り除き小枝でちぎる
小松菜(茹)	みじん切り	330g	60秒	3~4cmの長さにカット
小松菜(生)	みじん切り	330g	15秒	6~7cmの長さにカット
キャベツ	みじん切り	330g	10秒	6~7cm角にカット
玉ねぎ	みじん切り	520g	15秒	8つ切りにカット
ニンニク	みじん切り	520g	30秒	薄皮をむく
ゴボウ	みじん切り	520g	20秒	3~4cmの長さにカット
ホールトマト	ピューレ	850g	35秒	
イカ	すり身	800g	60秒	皮をむいて3~4cmの長さにカット

- 処理量、時間は目安です。
- 肉類は長時間調理すると粘度が上がり、モーターが過熱して保護装置が働き、停止することがあります。(P14を参照して復旧させてください。)

■調理禁止食材

- 硬いもの：カッターの刃が欠ける恐れがあります。
氷、冷凍された食材（肉、野菜、果物等）、
コーヒー豆、乾燥した豆類、
骨を含んだもの、皮の固い野菜や果物等、
かたい乾物類（煮干し、昆布等）、香辛料
- 生ゴマ
- すじ肉

お手入れ方法／収納の仕方

■お手入れするときは



- 動物性脂肪や蛋白質を含む食品(牛乳・魚・肉など)を処理した際は、温水を使い、特に慎重に除菌洗浄が必要です。
→怠ると、調理物のカスが腐食して雑菌が繁殖し、健康被害の原因になります。
- 洗浄時に温水を使う場合は必ず80°C以下にしてください。
→火傷やケガの原因になります。
- 乾燥消毒の際に、消毒保管庫を利用される場合は、100°C以下に設定し、各部品を吹き出し部付近や直接金属に触れる置き方はしないように入れてください。
→変色・変形の原因になります。
- カッター・プレート刃の刃の部分に直接触れないでください。→ケガの原因になります。

お願い

- 本体部分の清掃の際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- 部品の取り扱いには注意してください。→欠けたりひび割れた物は使わない。
- 除菌洗浄、アルコール除菌剤の使用については、それぞれの定める使用濃度および、使用上の注意事項に従ってください。
→濃度が高すぎると、金属やプラスチックなどの部品を損傷する原因になります。
- 除菌剤に塩素系の洗剤や電解酸性水、アルカリ性洗剤を使用するときは、適正濃度と殺菌時間を厳守してください。使用後は速やかに流水でよくすすぎ、すぐに水気を拭き取って完全に乾燥してください。
→劣化の原因になりますので、濃度と時間を厳守してご使用ください。
- 気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗剤は使用しないでください。
- 洗浄後は必ず水をきり、よく乾燥させてください。→サビの発生する原因になります。
- クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナー等は使わないでください。
→変色やキズが付いたり破損の原因になります。
- 表面の硬いスポンジ・タワシは使用しないでください。
→樹脂部品にキズが付く原因になります。
- 絶対に、本体を水につけて洗わないでください。→故障、感電の原因になります。
- 操作パネル部、モーター軸など本体には決して水を掛けないでください。
→故障、感電の原因になります。
- 本体の中へ液体が流れ込むのを防ぐため、清掃時、布やスポンジを使用するときは余分な水分を絞ってからご使用ください。→本体故障の原因になります。

■収納の仕方

充分乾燥させ、蓋を開けて収納してください。ワークボール蓋をセットしたまま収納しないでください。安全装置の故障の原因となります。高温、多湿の場所を避けて保管してください。

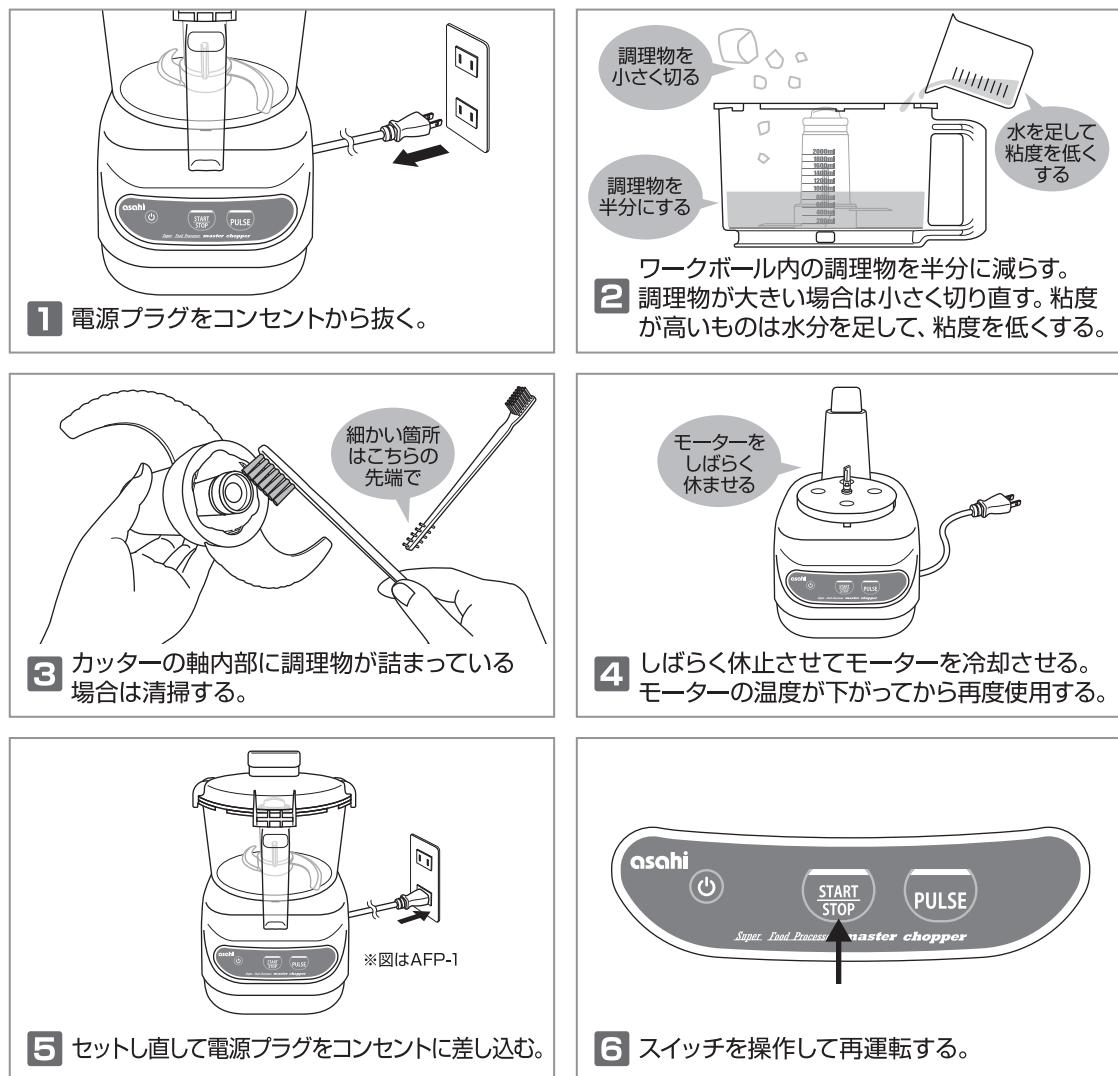
樹脂部品の変色について

樹脂部品は調理物の色素が付着して変色します。スポンジで洗っても完全には取れませんが、使用上問題ありません。使用後はお早めにお手入れすると、比較的変色が軽減します。

過負荷保護装置について

■モーターの保護装置

モーターに想定以上の過負荷がかかったときや長時間の連続運転をおこなったときに、モーターの温度が上がり、保護装置が働き運転が止まることがあります。故障ではありません。次の手順で復旧させてください。(そのまま運転を繰り返さないでください。)



上記の手順で復旧してもたびたび運転が止まる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。



電源プラグをコンセントから抜いてから上記作業をおこなってください。電源プラグを差し込んだままおこなうと、モーターの温度が下がり、保護装置から復帰したときにモーターが突然回りだすことがあります。大変危険です。

■故障の診断と手当て

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
それでも症状が改善されない時や「直し方」の欄に「お買い上げ店へ連絡してください」と記載されている場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店までご連絡ください。
※連絡の際は、本機の型番、製造番号、お買い上げ日、ユーザーIDと詳しい故障状況をお知らせください。



症 状	確認していただく項目	直 し 方
使用中に運転が止まる。	カッター内側に調理物が詰まっていますか。	調理物とワークボールの摩擦で回転が停止することがあります。詰まっている調理物をきれいに取り除いてください。
	上記に該当しない場合	モーター保護装置が働いた可能性があります。「過負荷保護装置について」(P14参照)に従って対応してください。それでも運転が止まる場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
電源ランプが点灯しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電ではありませんか。	通電するまでお待ちください。
	ワークボール、ワークボール蓋、ブッシャーガイドが正しく取り付けられていますか。	取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
	ワークボール、ワークボール蓋、ブッシャーガイドが変形していませんか。	変形によって安全装置が正常に働いていない可能性があります。変形していないワークボール、ワークボール蓋、ブッシャーガイドと交換してください。
	上記に該当しない場合	操作スイッチが故障している可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。
スイッチを押しても作動しない。	カッター内側に調理物が詰まっていますか。	調理物とワークボールの摩擦で回転できないことがあります。詰まっている調理物をきれいに取り除いてください。
	上記に該当しない場合	モーター保護装置が働いた可能性があります。「過負荷保護装置について」(P14参照)に従って対応してください。それでも作動しない場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
		操作スイッチが故障している可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。
START/STOPスイッチを押しても回転し続ける。 PLUS/Eスイッチをはなしても回転し続ける。		操作スイッチが故障している可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。

症 状	確認していただく項目	直 し 方
ワークボールより液漏れがする。	調理物が調理量を超えて入っていないですか。	調理の仕方に従い、調理物の容量を減らし運転させてください。
	ワークボール、ワークボール蓋にヒビ、割れ、変形がありますか。	ヒビ、割れ、変形のないワークボール、ワークボール蓋と交換してください。
ワークボールから異常音がしたり、回転による振動が大きい。	丈夫な所に設置していますか。	硬くて安定した場所に設置してください。
	本体ががたついていませんか。	平らで水平な場所に設置してください。
	機器に何か触れていませんか。	接触しているものを取り除いてください。
	各部品が正しくセットされていますか。	取扱説明書に従ってセットしてください。
	カッター本体内部またはプレート軸内部に調理物が詰まっていますか。	カッター本体内部またはプレート軸内部を清掃してください。
	カッターまたはプレート刃にヒビ、割れ、曲がり等がありませんか。	カッターまたはプレート刃を交換してください。
	カッターまたはプレート軸は奥まで差し込まれていますか。	カッターまたはプレート軸を奥まで差し込んで再度運転してください。
モーターの回転が不規則であったり、停止したり回転が遅かれたりする。	調理物の粘度が高すぎませんか。	調理物を減らすか水分を足してから再度運転してください。
	調理物の量が多すぎませんか。	調理物を減らしてから再度運転してください。
	調理物が大きすぎませんか。	調理物を小さく切り直して再度運転してください。
	調理物が容器内でかたよっていますか。	スパチュラ、ヘラなどで調理物を均一にしてから再度運転してください。
	上記に該当しない場合	モーター故障の可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。
運転すると、建物側の漏電遮断器が突然落ちる。		漏電している可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。使用を続けると感電や火災の原因となります。
電源コードやプラグが異常に熱い。		電源コードの破損の可能性があります。お買い上げ店へ連絡してください。
	コードを折り曲げたりすると通電したり、しなかったりする。	ご使用を続けると感電や火災の原因となります。

品名	スーパーフードプロセッサー master chopper		
型番	AFP-1	AFP-1M	
外形寸法	W:23.0 D:32.3 H:33.6cm	W:23.0 D:32.3 H:41.0cm	
質量	約9kg (カッター装着時) (プレート刃1種装着時) プレート刃1枚 約215g	約9.5kg	
電源	AC 100V		
消費電力	520W/550W (50/60Hz時)		
定格時間	20分間		
回転数	1500/1800rpm (50/60Hz時) 無負荷時		
材質	本体	ポリカーボネート	
	ワークボール	ポリカーボネート	
	ワークボール蓋セット M用ワークボール蓋セット	ナイロン、ステンレス	
	カッター・プレート軸	ナイロン、ステンレス	
	各種プレート刃	ステンレス	
容器容量	3.6ℓ		
処理水分容量	700ml		
電源コード	2m		

※この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。

また、アフターサービスも対応しておりません。

※上記の内容は、予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。

アフターサービス

お客様サポート専用デスク

☎06-6972-8865 ダイヤルイン

受付:月~金 9時から18時まで(祝・年末年始を除く)

代替機無料貸し出しサービスがございます。(ユーザー登録必須)

安全点検

長期ご使用の製品の点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ、電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷がついていたり、通電したりしなかつたりする。
- 本体が変形していたり、異常に熱くなることがある。
- 使用中に異常な音がすることがある。
- 各部品等にひび割れや亀裂がある。

ご使用中止

- 事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。